

科目名	精神障害作業治療学	担当教員	松田 竜幸 森元 隆文 泊り由希子 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32ABDE	①、②、③、④					

科目概要	生物・心理・社会的側面を持つ精神障害への治療・介入は単一の特殊技能にとどまらず、複合的なアプローチによる協力的、相互作用的かつ多元的な作業療法的支援が重要となる。本講座では、各種疾患・障害像から生活障害の起こりやすい状況の理解と特性に合った対応を学習することを基本とし、心理社会的側面の治療的アプローチを題材に、主体的生活者としての対象者について、多面的な理解、より良い予防的かつ効果的なりハビリテーションアプローチ、作業療法アプローチ、治療の構成・構造について、集団的機序を通して意見交換することでさらなる理解を深める。
学習目標	① 作業療法評価から治療目標を設定し、有効な治療構造を設定できる。 ② 精神障害領域で行われている治療実践の場や、方法について説明できる。 ③ 精神障害領域の作業療法実践の方法を理解し、その適応について説明できる。 ④ 精神障害領域の作業療法に関連する理論や治療法について説明できる。 ⑤ 精神障害領域のトピックに基づき集団におけるリーダー体験ができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	治療構造概説	作業療法の構造と形態	作業療法を成り立たせる構造と構成物と形態についての概要を説明できる。	
2	回復段階概説	回復段階に応じた作業療法	各種精神科疾患のそれぞれの病相期・回復段階の異同や作業療法の目的・働きかけを説明できる。	
3	コミュニケーションと傾聴	作業療法場面のコミュニケーション（基本的傾聴・積極的傾聴）	面接やコミュニケーションにおける基本的傾聴・積極的傾聴を理解し実践できる。	
4	認知行動療法(1)	認知行動療法の基本構造と技法	認知行動療法の基本的な構造と技法の理解ができる。	
5	認知行動療法(2)	認知行動療法の技法と実践	認知行動療法の技法を体験する。	
6	心理教育概説(1)	心理教育の知識と理論	心理教育の基本的な知識と理論の理解ができる。	
7	心理教育概説(2)	心理教育の理論と実際	心理教育の理論と実際を理解し、対象者への説明を体験する。	
8	各種疾患対応(1)	統合失調症と作業療法の取り組み方	統合失調症の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる。	
9	各種疾患対応(2)	気分障害と作業療法の取り組み方	気分障害の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる。	
10	各種疾患対応(3)	神経症性障害の作業療法の取り組み方	神経症性障害の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる。	
11	各種疾患対応(4)	パーソナリティ障害・摂食障害と作業療法の取り組み方	パーソナリティ障害・摂食障害の作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる。	
12	各種疾患対応(5)	アルコール依存症・てんかんと作業療法の取り組み方	アルコール依存症・てんかんの作業療法場面の特徴と適切な作業療法の取り組み方を説明できる。	

13	社会生活技能訓練(1)	社会生活技能訓練の知識と理論	社会生活技能訓練の基本的な知識やモデルを理解できる。
14	社会生活技能訓練(2)	社会生活技能訓練の実践	社会生活技能訓練のモデルを体験する。
15	事例検討	作業療法プログラムの立案方法と効果判定方法	精神科作業療法プログラム立案方法と効果判定方法を理解する。
評価方法		筆記試験（100％）	
課題に対するフィードバック		授業をとおしてフィードバックする。	
教科図書		教員作成教材 早坂友成・編著『精神科作業療法の理論と技術』メジカルビュー社、2018年	
参考図書		山根寛・著『精神障害と作業療法 新版』三輪書店、2017年 上野 武治・著『標準理学療法・作業療法学 精神医学第4版増補版』医学書院、2021年 香山明美、他・編『生活を支援する精神障害作業療法—急性期から地域実践まで—第2版』医歯薬出版株式会社、2014年 石井良和、他・編『精神障害領域の作業療法』中央法規、2010年	
学習の準備		予習：教科図書を通読し用語の確認をする。(90分) 復習：講義で理解できた内容と、理解が不十分な内容を整理し、自主学习、担当教員への質問の準備を行う。(90分)	
オフィスアワー		松田竜幸：毎週水曜日 16：20～17：50。その他は、随時対応する。 泊り由希子：毎週木曜日 10：30～12：00。その他は、随時対応する。 森元隆文：講義の前後とする。	
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験			